| 科目ナンバリング | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 中国語ＩＡ（文法） C1103<br>Primary Chinese A | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 非常勤講師 猿渡　留理 | | |
| 群 | 外国語科目群 | | 分野(分類) | | | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習（外国語）（対面授業科目） |
| 開講年度・<br>開講期 | 2024・前期 | 曜時限 | 火3 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

本授業は、初めて中国語を学ぶ学生を対象にしたものであり、簡単なスキットと初歩的な文法事項を段階的に学びながら、読む、書く、聞く、話すといった能力を身につけてゆく。この授業では特に文法的知識の習得を目指し、演習の授業と連携したかたちで、授業をすすめる。

**[到達目標]**

中国語の発音体系を身につけることができる。基本的な中国語の文法を理解し、表現力を身につける。中国の首都である北京を舞台とするスキットとさまざまな例文により、広く中国の文化、更には異文化に対する理解を深める。

**[授業計画と内容]**

最初の２、３回の授業では、まず中国語の表音システムであるピンイン（ローマ字綴り）の学習を通じて中国語の発音体系のあらましを体得する。それに続いて、スキットと文法事項ごとの例文の学習を通して、正確な文法的知識、基本的な表現力の習得を目指す。前期は発音編と本文編第十課までを学びながら、特に、基本的な文法事項をしっかり身につけることをめざす。原則として1回の授業で１課を学習する。フィードバック方法は別途連絡する。
本授業は、所定の演習の授業と連携して行われるため、かならずセットで履修しなければならない。この授業だけの履修は認められない。

**[履修要件]**

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

**[成績評価の方法・観点]**

原則として定期試験80%、平常点20%で評価する。詳細については授業の最初の時間に説明する。
　基本的な文法事項の理解と、それを用いた表現能力の修得が評価の対象となる。

**[教科書]**

道坂昭廣　他『中国語の世界　ー　北京2017』（大地社）

**[参考書等]**

（参考書）
詳細な学習方法や、辞書及び参考書については、最初の授業や授業の中で紹介する。

**[授業外学修（予習・復習）等]**

Web上に教材や練習問題の音声を置く。24時間自由にアクセスできるので、必ず授業の前に、音声を聞くとともに文法事項について目を通しておくこと。また、練習問題が宿題となることもある。必ず復習とともに練習問題等の課題を行うこと。

**[その他（オフィスアワー等）]**

最初の授業において紹介する。